

問1 平安京が碁盤の目状に整備される際に、手本とされた中国の都はどこ？

1. 洛陽 2. 平安京 3. 長安 4. 平城京

問2 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？

1. 紫式部 2. 菅原孝標女 3. 清少納言 4. 和泉式部

問3 摂関家を外戚に持たず、荘園整理令を出して藤原氏の勢力を抑えた天皇は誰？

1. 村上天皇 2. 醍醐天皇 3. 白河天皇 4. 後三条天皇

問4 空海が唐で学んだ密教を日本に広めるために金剛峯寺を建立した際、唐へ渡った制度を何という？

1. 遣渤海使 2. 遣唐使 3. 遣新羅使 4. 遣隋使

問5 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？

1. 浄土教美術 2. 仏像彫刻 3. 書道芸術 4. 曼荼羅画

問6 平安時代に遣唐使の廃止などを背景に栄えた、日本の風土に合わせた独自の文化を何という？

1. 室町文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 鎌倉文化

問7 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性是谁？

1. 和泉式部 2. 清少納言 3. 紫式部 4. 菅原孝標女

問8 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？

1. 侍所 2. 西面の武士 3. 六波羅探題 4. 北面の武士

問9 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？

1. 空海 2. 法然 3. 最澄 4. 親鸞

問10 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？

1. 桓武天皇 2. 嵯峨天皇 3. 光仁天皇 4. 聖武天皇

問11 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？

1. 和歌集 2. 日記 3. 物語 4. 随筆

問12 平安時代後期に院政を最初に始めた上皇は誰？

1. 後白河上皇 2. 白河上皇 3. 後鳥羽上皇 4. 鳥羽上皇

問13 平将門が乱の中で自らを称し、独立した政権を立てようとした称号は何？

1. 新皇 2. 上皇 3. 法皇 4. 天皇

問14 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武將は誰？

1. 源義家 2. 藤原純友 3. 坂上田村麻呂 4. 平将門

問15 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？

1. 藤原基経 2. 藤原頼通 3. 藤原良房 4. 藤原道長

問16 平安時代中期、貴族の邸宅として発展した日本独自の建築様式を何という？

1. 室町文化 2. 国風文化 3. 鎌倉文化 4. 天平文化

答え合わせ・解説

問1	答え 3 長安	平安京は、唐の首都である長安の都市計画をモデルにして建設されました。道路が東西・南北に整然と交差する「条坊制」を採用し、北端中央に天皇の住まいである内裏を置く構造となっています。当時の高度な都市開発技術が結集された、日本を代表する計画都市です。
問2	答え 1 紫式部	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。この作品は、貴族社会の人間模様や恋愛、栄枯盛衰を細やかに描いた世界文学の傑作です。また、彼女が日々の生活や宮中の様子を書き留めた『紫式部日記』も、当時の歴史を知るための貴重な資料となっています。
問3	答え 4 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏出身ではない天皇として即位しました。記録荘園券契所を設置して延久の荘園整理令を出し、不正な荘園を廃止して朝廷の財源を確保しました。これにより、藤原氏の経済的基盤が揺らぎ始めました。
問4	答え 2 遣唐使	遣唐使は7世紀から9世紀にかけて、朝廷が中国へ送った外交使節団です。空海や最澄ら多くの僧侶や留学生が渡り、仏教の教えや政治制度、芸術などを持ち帰りました。これにより日本の社会や文化は大きな影響を受けました。
問5	答え 1 浄土教美術	浄土教美術は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。平等院鳳凰堂の内部にある華麗な障壁画や、阿弥陀如来坐像などは、当時の最高の職人や芸術家によって作られました。繊細な装飾や美しい色彩は、平安貴族の優雅で洗練された文化を象徴しています。
問6	答え 3 国風文化	国風文化は、平安時代の中頃から後半にかけて貴族を中心に発達した文化です。それまでの唐風の文化から脱却し、日本の自然や風土、日本人の心情に適した形へと発展しました。仮名文字の発明により、文学や芸術が非常に豊かになったのが特徴です。
問7	答え 2 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕える中で見聞きしたことや、四季の美しさなどを鋭い観察眼で書き記しました。これが日本最古の随筆である『枕草子』です。理知的な文体と、当時の宮廷社会の様子を描いた内容が特徴です。
問8	答え 4 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実力行使の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問9	答え 3 最澄	最澄は、唐に渡って天台の教えを学び、日本に帰国して比叡山に延暦寺を建立しました。彼は「すべての人が救われる」という平等を説き、厳しい修行を重視する天台宗を開きました。また、比叡山には多くの優れた僧が集まり、後の日本仏教界に多大な影響を与えました。
問10	答え 1 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。
問11	答え 4 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。清少納言の『枕草子』はその代表格であり、彼女の鋭い視点やユーモア、時には批判的な意見なども書き込まれています。かな文字が使われたことで、日本語特有のリズムや情緒を豊かに表現できるようになりました。
問12	答え 2 白河上皇	白河上皇は1086年に院政を開始しました。上皇は自分の屋敷である「院」に院庁という機関を設け、天皇に代わって国の重要事項を決定しました。これにより、有力な貴族ではなく上皇が政治の主導権を握るようになりました。
問13	答え 1 新皇	平将門は勢力範囲を支配下におくと、朝廷から認められない権力として、あえて「新皇」という称号を名乗りました。これは単なる地方の反乱を超え、中央政府である朝廷に対する真っ向からの挑戦を意味していました。
問14	答え 3 坂上田村麻呂	坂上田村麻呂は、桓武天皇により「征夷大將軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。彼は蝦夷の指導者であった阿弭流為らを降伏させ、朝廷の支配圏を現在の岩手県あたりまで拡大させました。
問15	答え 4 藤原道長	藤原道長は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。この強力な血縁関係を武器に、政治の決定権を独占し、藤原氏による統治の最盛期を現出させました。
問16	答え 2 国風文化	国風文化は、仮名文字の普及による文学の発展や、独自の美的感覚を反映した建築、絵画（大和絵）などが特徴です。日本人の心情や感性を豊かに表現したこの文化は、当時の貴族社会のあり方を象徴するものとなりました。